

中3

題材名 社会に生きる美術の力(オリエンテーション)

配当時間 1時間

題材の目標

- (1) 自分と社会や自然がどのような関わりにあるのかを美術を通して考え、美術の意味や役割、可能性について自分の意見をもつことができる。
- (2) 第1・2学年の学習を振り返るとともに、美術の授業への関心を高め、意欲的に取り組もうとする。

標準的な展開例

【準備等】参考画像、ワークシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 美術作品をつくる意義を考える。</p> <p>★美術作品を作る意義とはなんだろう。</p> <p>○オラファー・エアリソンが制作した作品を鑑賞し、作品に込められた思いや、社会や自然への関わりについて文章や言葉などで表現し、ワークシートに書き発表する。</p> <p>○第3学年の学習内容を知り学習計画を立て、それぞれの活動の目標をワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の世界情勢や社会問題に対して問題提起したり、批判を感じさせたりする現代アートを通して、美術の果たす役割について考えさせる ・平面や立体、場所、素材など、既成概念に囚われない表現方法に触れることで、意欲的に活動する気持ちを高めたい。 <p>【評】参考作品から、さまざまな表現のよさを感じ取ったり、作者が作品に込めた思いを書いたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作することの意義や楽しさを振り返ることを通して、意欲的に活動する気持ちを高めたい。 <p>【評】第3学年の目標を意欲的に書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

第1・2学年での学習内容を振り返り、美術と社会、自然との関わりや、美術の果たす役割、可能性について考え、第3学年では、さらに発想・構想力、技能を高めたい。

言語活動としては、美術と社会とのかかわりに着目し、参考作品に込められた思いを文章や言葉で表現することで、発表や話し合い活動が活発に行えるようにするとよい。

義務教育最後の学年であることの自覚をもたせ、意欲的に授業に取り組もうとする気持ちを高めたい。また、作品をつくる経験から得た発想・構想力や作品に託した作者の心情や意図を感じ取る力を、生涯にわたり生かせるようにさせたい。